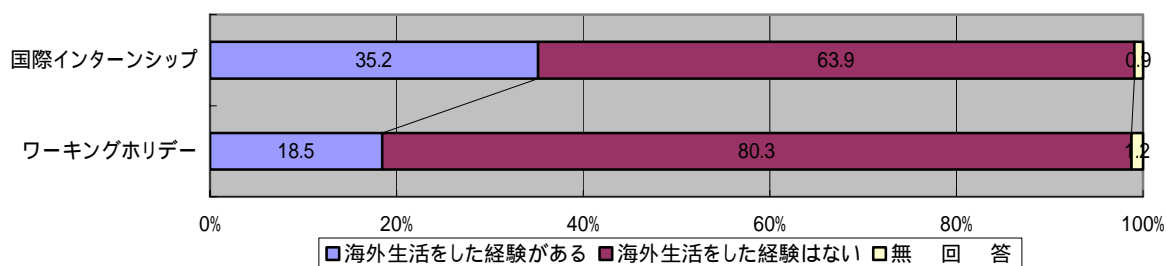


## 海外就業体験に参加する以前の職業・キャリア等に関すること

### 1 海外就業体験に参加する以前の海外生活歴

海外就業体験に参加する以前に海外生活をした経験（旅行等の短期間滞在を除く。）があるかないかをワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者では「有」が18.5%、「無」が80.3%であり、後者では「有」が35.2%、「無」が63.9%となっている。（図13）

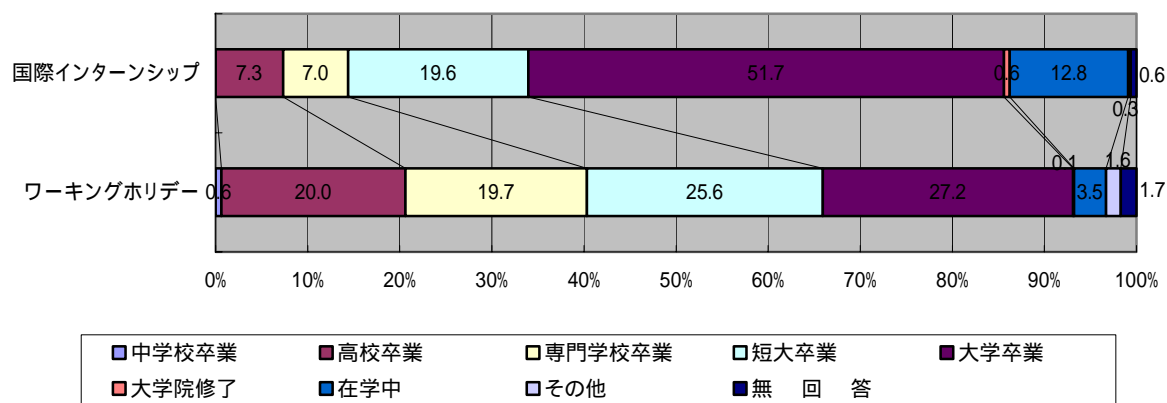
図13 海外就業体験に参加する以前の海外生活経験の有無



### 2 海外就業体験に参加する以前の最終学歴

海外就業体験に参加する以前の最終学歴をワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者では「大学卒業」が27.2%、「短大卒業」が25.6%、「高校卒業」が20.0%、「専門学校卒業」が19.7%などとなっており、後者では「大学卒業」が51.7%、「短大卒業」が19.6%、「大学等に在学中」が12.8%などとなっている。（図14）

図14 海外就業体験に参加する以前の最終学歴

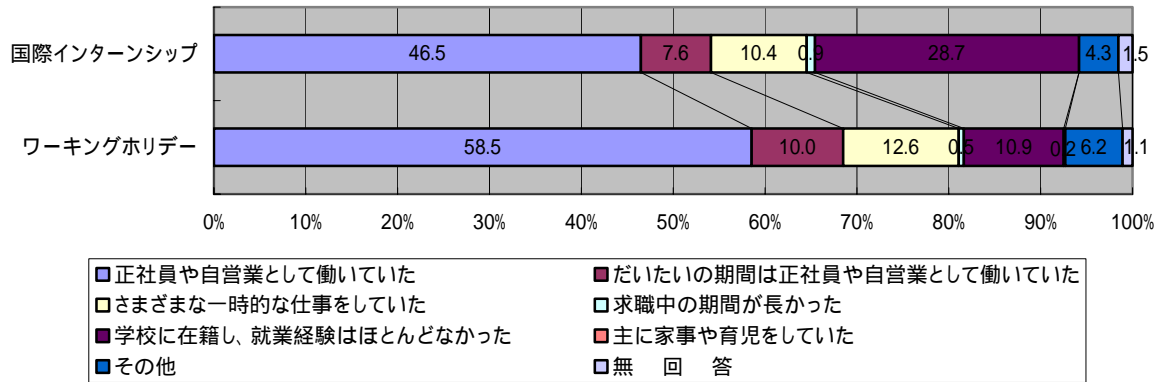


### 3 海外就業体験に参加する以前の過ごし方

海外就業体験に参加する以前の過ごし方を見ると、「正社員や自営業として働いていた」が54.7%、「学校に在籍し、就業経験はほとんどなかった」が16.0%、「さまざまな一時的な仕事をしていた」が12.0%などとなっている。

これをワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者では「正社員や自営業として働いていた」が58.5%、「さまざまな一時的な仕事をしていた」が12.6%、「学校に在籍し、就業経験はほとんどなかった」が10.9%などとなっており、後者では「正社員や自営業として働いていた」が46.5%、「学校に在籍し、就業経験はほとんどなかった」が28.7%、「さまざまな一時的な仕事をしていた」が10.4%などとなっている。（図15）

図15 海外就業体験に参加する以前の過ごし方

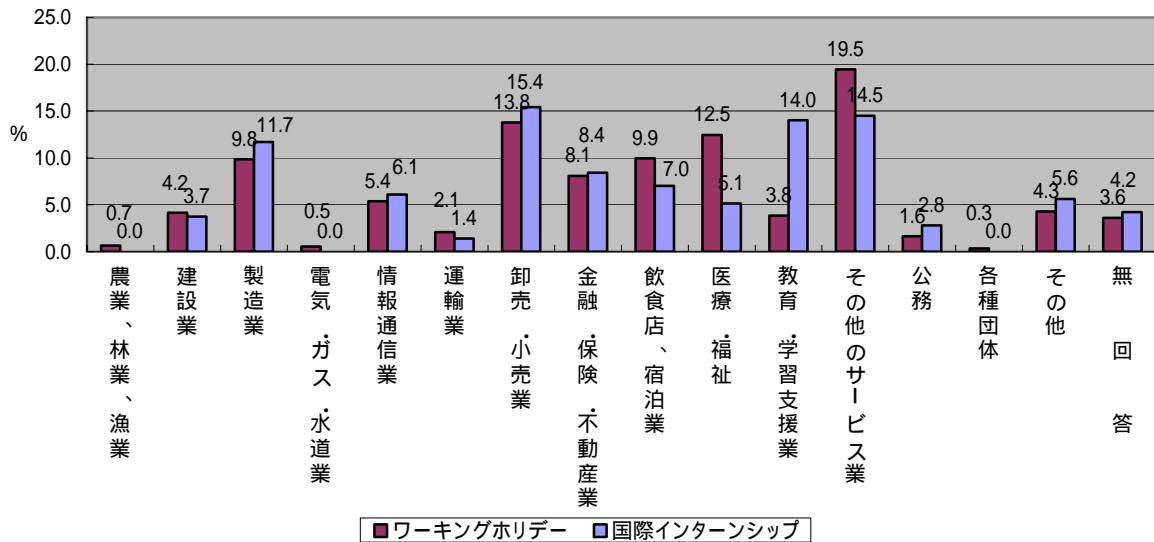


#### 4 海外就業体験に参加する以前の主たる職業

##### (1) 海外就業体験に参加する以前の主たる職業の業種

海外就業体験に参加する以前の主たる職業がどのような業種であったかをワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者では「その他のサービス業」が19.5%、「卸売・小売業」が13.8%、「医療・福祉」が12.5%などとなっており、後者では「卸売・小売業」が15.4%、「その他のサービス業」が14.5%、「教育・学習支援業」が14.0%などとなっている。(図16)

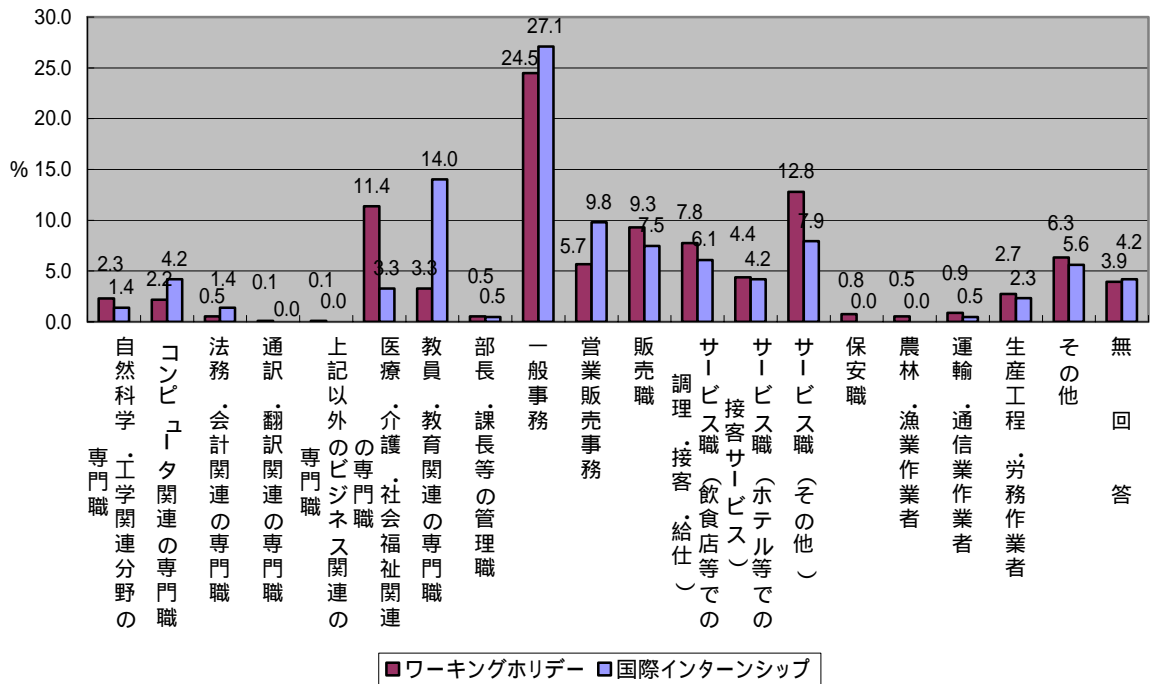
図16 海外就業体験に参加する以前の主たる職業の業種



##### (2) 海外就業体験に参加する以前の主たる職業の職種

海外就業体験に参加する以前の主たる職業がどのような職種であったかをワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者では「一般事務」が24.5%、「サービス職(その他)」が12.8%、「医療・介護・社会福祉関連の専門職」が11.4%などとなっており、後者では「一般事務」が27.1%、「教員・教育関連の専門職」が14.0%、「営業販売事務」が9.8%などとなっている。(図17)

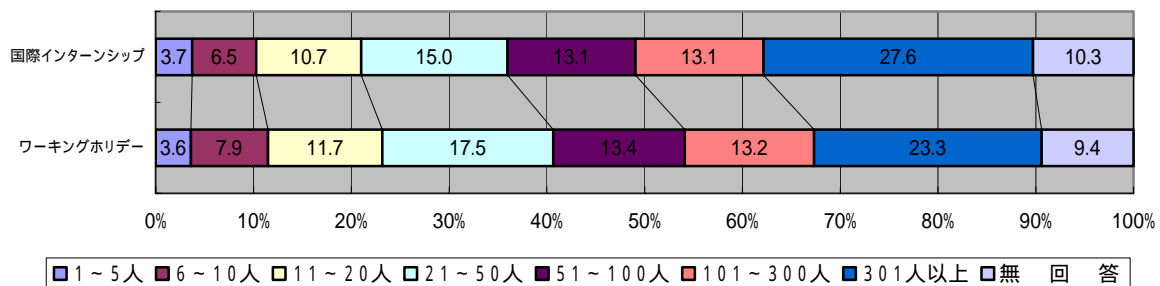
図17 海外就業体験に参加する以前の主たる職業の職種



(3) 海外就業体験に参加する以前の主たる職業の事業所規模

海外就業体験に参加する以前の主たる職業がどのような規模の事業所であったかをワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者では「301人以上」が23.3%、「21～50人」が17.5%、「51～100人」が13.4%などとなっており、後者では「301人以上」が27.6%、「21～50人」が15.0%、「51～100人」と「101～300人」がいずれも13.1%などとなっている。(図18)

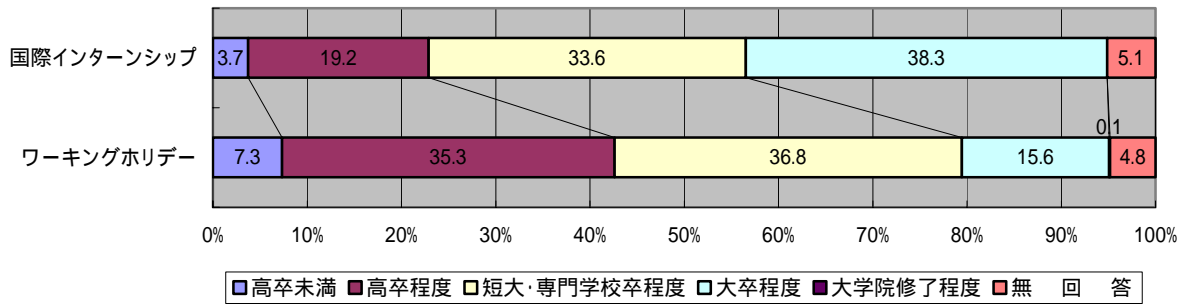
図18 海外就業体験に参加する以前の主たる職業の事業所規模



(4) 海外就業体験に参加する以前の主たる職業で期待されていた学力レベル

海外就業体験に参加する以前の主たる職業で期待されていた学力レベルをワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者では「短大・専門学校卒程度」が36.8%、「高卒程度」が35.3%、「大卒程度」が15.6%などとなっており、後者では「大卒程度」が38.3%、「短大・専門学校卒程度」が33.6%、「高卒程度」が19.2%などとなっている。(図19)

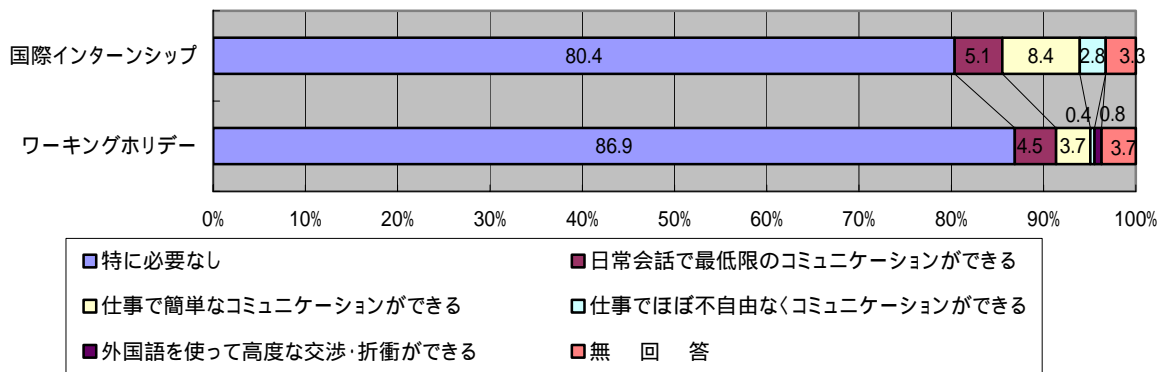
図19 海外就業体験に参加する以前の  
主たる職業で期待されていた学力レベル



(5) 海外就業体験に参加する以前の主たる職業で期待されていた外国語能力

海外就業体験に参加する以前の主たる職業で期待されていた外国語能力をワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者では「特に必要なし」が86.9%、「日常会話で最低限のコミュニケーションができる」が4.5%などとなっており、後者では「特に必要なし」が80.4%、「仕事で簡単なコミュニケーションができる」が8.4%などとなっている。(図20)

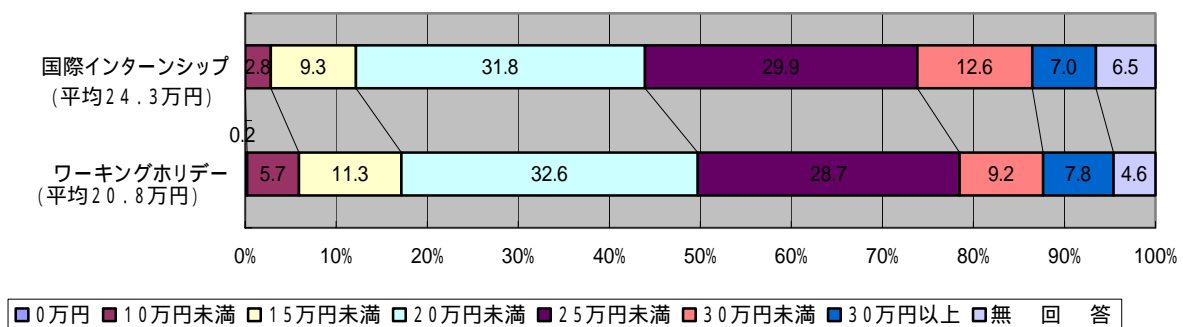
図20 海外就業体験に参加する以前の主たる職業で  
期待されていた外国語能力



(6) 海外就業体験に参加する以前の主たる職業の税込み平均月収

海外就業体験に参加する以前の主たる職業で得ていた税込み平均月収は、ワーキング・ホリデーでは20.8万円であり、国際インターンシップでは24.3万円となっている。(図21)

図21 海外就業体験に参加する以前の  
主たる職業の税込みの平均月収

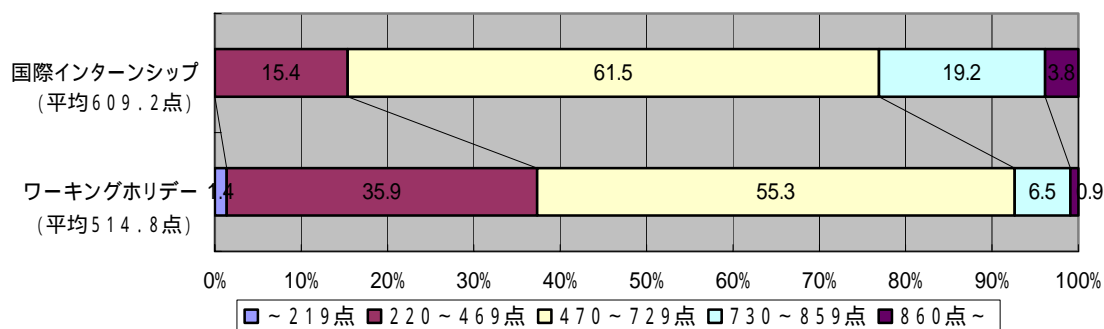


## 5 海外就業体験に参加する以前の外国語能力

海外就業体験に参加する以前の外国語能力を見ると、TOEIC受検者の平均点は557.5点となっている。

これをワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者のTOEIC受検者の平均点は514.8点であり、後者のTOEIC受検者の平均点は609.2点となっている。(図22)

図22 海外就業体験に参加する以前の外国語能力  
TOEICの得点

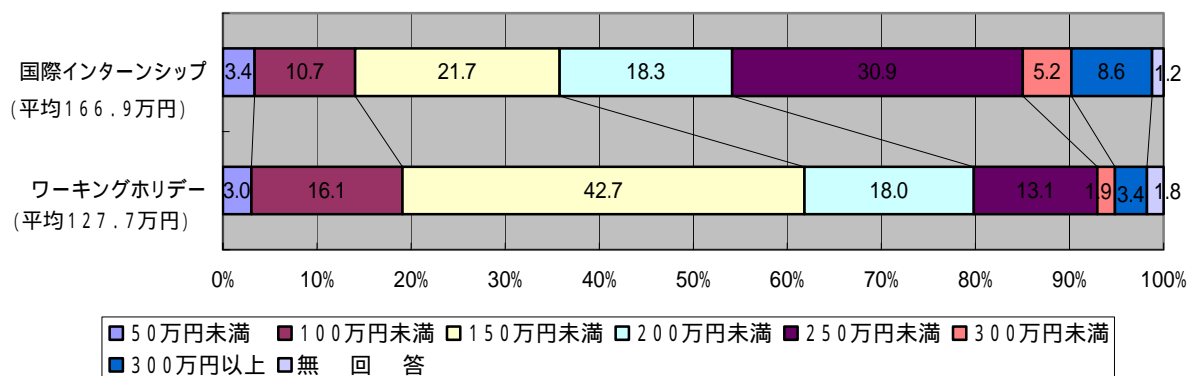


## 6 海外就業体験までに用意した費用とその準備方法

### (1) 海外就業体験までに用意した費用

海外就業体験出発までに準備した費用をワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者の平均金額は127.7万円であり、後者の平均金額は166.9万円となっている。(図23)

図23 海外就業体験までに用意した費用



### (2) 海外就業体験までに用意した費用の準備方法

海外就業体験出発までに用意した費用の準備方法をワーキング・ホリデーと国際インターンシップのプログラム別に見ると、前者では「働いてためた」が92.0%、「親からもらった」と「親から借りた」がいずれも3.0%などとなっており、後者では「働いてためた」が75.8%、「親から借りた」が12.5%、「親からもらった」が8.6%などとなっている。(図24)

図24 海外就業体験までに用意した費用の準備方法

